

学校教育目標
「心身ともたく
ましく自立した
子どもの育成」

たかくらだより

北九州市立高蔵小学校
校長 井上 勝美
平成24年1月30日
No.46 (通算No.173)

家
庭
数

代表委員会で決めたマラソン大会のスローガン あきらめず 自分のペースで走りきろう。

前日がみぞれ混じりの天気で、無事開催できるだろうかと心配しましたが、当日は、気温がやや低いもののみすますの天気に恵まれ、ミニマラソン大会を行うことができました。

この大会のスローガン「あきらめず 自分のペースで走りきろう」は、代表委員会(児童が話し合う会議)で決まりました。ゴール前の子もたちの顔をひとりひとり見ましたが、みんな、スローガン通りに走りきることができました。たかくらっ子のがんばりに拍手です。

また、学年を超え、応援する態度もすばしかったです。子どもたちの優しい心にも感心しました。

さらに、スポーツ委員会の開会式・閉会式の進行も見事でした。マラソンタイムの世話もしっかり取り組むことができました。高学年としての自覚ある行動にも感心しました。

大会終了後は、豚汁会を行いました。子どもたちが育てた野菜を多くのお母さん方が調理をしていただき、とてもおいしい豚汁をいただくことができました。「あったかいね。おいしいね。」と体育館が子どもたちの笑顔でいっぱいになりました。

最後になりましたが、豚汁作りのお世話をいただいた保護者の皆様、子どもたちが走る走路の安全を見守っていただいた生活安全パトロール隊の皆様、スクールヘルパーの皆様、そして、子どもたちに大きな声援をいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



児童の声紹介 (※感想文から抜粋して掲載しています。)

2年

- ☆ ほくのお母さんはきていなかったけれど、がんばりました。おかあさんがほめてくれるといいです。
- ☆ はじめさむかったけれど、さむさをわすれてしまうくらいがんばりました。
- ☆ 走ってきつかったけれど、がんばって走りました。歩きませんでした。みんなおうえんしてくれて、ゆうきができました。
- ☆ いろいろな人がおうえんをいっぱいしてくれたから走れました。
- ☆ マラソン大会のめあてをつくりました。そのめあてをまもれました。わたしは、だからはやく走れたのです。

4年

- ☆ 中休みや朝休みに走らないといけないのがいやでしたが、ミニマラソン大会は終わってみると、走ってよかったなあと思いました。
- ☆ 私は、一生けん命がんばって走りました。その理由は朝「がんばってね。」とおうえんくれたお母さんとおぼあちゃん、そして、「寒い中おうえんしてくれた人たちのためにもがんばるんだ」と思っていたからです。
- ☆ ミニマラソン大会が終わってどんじりを食べたとき、ほっぺたが落ちるくらいおいしかったです。
- ☆ 食べている間、作ってくれた人たちの心がつまっているのがとってもわかりました。

6年

- ☆ 6年生最後のマラソンタイムだったけど、一度も歩かずに自分の力を出し切ってよかったです。
- ☆ 1年生の人がゴールした時、1年生でもがんばっているなあと思って感動しました。6年生もウルっときて、それほどがんばっていたと思います。
- ☆ マラソンはきらいだったけど、5・6年生で好きになりました。だからマラソンはきついけど、とても楽しいです。走り終わった時すっきりするからです。今日もくやしかったけれど、いつもより倍すっきりしました。

達成感・感謝の気持ち・次への意欲が伝わります。

今日のために、一生けん命セットしてくれた先生たち、寒い中、マラソンコースに立ってくれたスクールヘルパーさん、生活安全パトロール隊のみなさん、そしておうえんしてくれた人たちに、とても感謝しています。ありがとうございます。

こんな感想を多くの子どもたちは書いてくれていました。「ありがとうございます。」という感謝の気持ちをもっているのがうれしいです。